

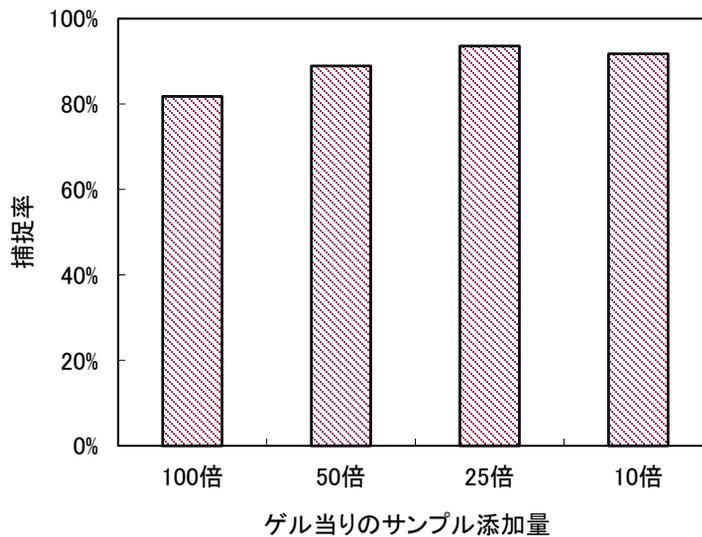
Ab-Capcher Mag の ヒトIgG 捕捉率に対するサンプル量の影響

操作手順

ヒト IgG (0.5, 1, 2, 5 mg/mL)
↓
Ab-Capcher Mag (10 μ L) に添加
↓
反応 (2 時間振とう, 4°C で一夜静置)
↓
洗浄 (PBS)
↓
0.1 M Glycine-HCl (pH 2.8) 溶出

サンプル添加量 (50 mg/mL gel 一定)

ゲル当りの添加量	IgG 濃度	添加量	結合 IgG (mg/mL gel)	捕捉率
100倍	0.5 mg/mL	1000 μ L	37.6	81.8%
50倍	1 mg/mL	500 μ L	43.1	88.9%
25倍	2 mg/mL	250 μ L	46.6	93.6%
10倍	5 mg/mL	100 μ L	46.8	91.7%



バッチ精製の場合、ゲル量に対してサンプル量が多いと IgG 捕捉率は低下する。そこでゲルに対して 10 ~ 100 倍量のサンプルを用いて、捕捉される抗体量を測定比較した。なお、ゲル当りの添加抗体量は 50 mg/mL ゲルで統一した。

その結果、ゲル当り 10 ~ 50 倍のサンプル量で約 90% の捕捉率、100 倍サンプル量で 82% の捕捉率であった。このことより、サンプルに対して 1/100 量を目安として Ab-Capcher Mag を使用することができる。また、1/100 量よりもゲル量を増やすことで抗体回収率を上げることが可能である。

プロテノバ株式会社

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1

TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703

ホームページ <http://protenova.com>